

TOPICS 令和4年度当初予算の概要

予算の規模

令和4年度の予算規模は、一般会計は167億9千万円(前年度対比3.4%増)となりました。
また、特別会計は4会計の合計が85億8,855万4千円(前年度対比5.2%増)、企業会計が21億6,218万円(前年度対比1.9%増)で、全ての予算の合計は275億4,073万4千円(前年度対比3.8%増)となりました。

総額 (単位:千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	16,790,000	16,240,000	550,000	3.4
特別会計				
土地取得	373,294	16	373,278	-
国民健康保険	3,828,970	3,924,530	△95,560	△2.4
後期高齢者医療	721,990	673,990	48,000	7.1
介護保険	3,664,300	3,567,000	97,300	2.7
小計	8,588,554	8,165,536	423,018	5.2
企業会計				
下水道事業	2,162,180	2,121,952	40,228	1.9
収益的支出	903,686	890,044	13,642	1.5
資本的支出	1,258,494	1,231,908	26,586	2.2
小計	2,162,180	2,121,952	40,228	1.9
合計	27,540,734	26,527,488	1,013,246	3.8

※土地取得特別会計の本年度予算額は、土地取得費の計上により大幅な増加となるため、伸率を「-」で表記しています。

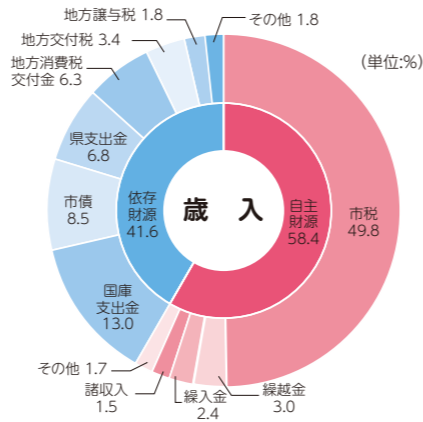
一般会計歳入の概要

歳入の根幹をなす市税は、個人所得が堅調だったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う固定資産税の軽減措置が終了したことから、83億6,814万8千円(前年度対比9.9%増)を見込みました。これは歳入全体の49.8%になります。

市債(市の借金)全体では14億2,800万円(前年度対比8.9%減)を予定し、弥生小学校長寿命化改良工事に対する学校施設整備事業債4億4,990万円、普通交付税の振替措置である臨時財政対策債4億2,700万円が主なものとなります。

基金(市の貯金)の取り崩しなどにあたる繰入金は4億29万2千円(前年度対比6.0%減)を見込み、令和4年度末基金残高は18億9,947万1千円となる見込みです。

歳入予算の自主財源・依存財源別内訳(一般会計)



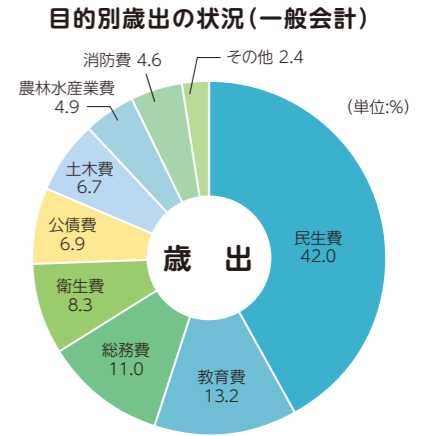
一般会計(歳入)

(単位:千円)

区分	本年度予算額	構成比(%)	前年度予算額	増減額	増減率(%)
自主財源	9,802,506	58.4	9,082,877	719,629	7.9
市税	8,368,148	49.8	7,616,103	752,045	9.9
繰越金	500,000	3.0	500,000	0	0.0
繰入金	400,292	2.4	425,749	△25,457	△6.0
諸収入	250,620	1.5	251,270	△650	△0.3
その他	283,446	1.7	289,755	△6,309	△2.2
依存財源	6,987,494	41.6	7,157,123	△169,629	△2.4
国庫支出金	2,185,203	13.0	1,947,567	237,636	12.2
市債	1,428,000	8.5	1,566,900	△138,900	△8.9
県支出金	1,135,589	6.8	1,507,154	△371,565	△24.7
地方消費税交付金	1,060,000	6.3	980,000	80,000	8.2
地方交付税	571,000	3.4	302,000	269,000	89.1
地方譲与税	310,701	1.8	293,501	17,200	5.9
その他	297,001	1.8	560,001	△263,000	△47.0
歳入合計	16,790,000	100.0	16,240,000	550,000	3.4

一般会計歳出の概要

歳出を目的別に見ると、弥生小学校長寿命化改良工事や総合体育館特定天井撤去工事の実施により、教育費は22億2,322万3千円(前年度対比57.5%増)となりました。衛生費は新型コロナウイルスワクチン接種事業を引き続き計上したものの、市営火葬場の建設事業が令和3年度をもって終了したことにより13億9,699万円(前年度対比22.9%減)となりました。その他、災害時の停電における避難所生活の環境向上を目的とした避難者用小型蓄電池・ソーラーパネル配備事業や、子育て支援事業として子ども医療費の無償化の助成対象年齢を高校生世代まで拡充するなど、市民の安全・安心のための事業に優先的に配分しました。



一般会計(歳出)目的別

(単位:千円)

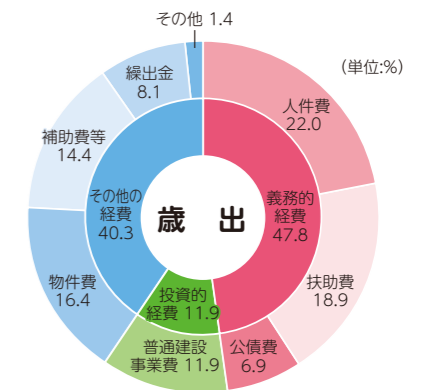
区分	本年度予算額	構成比(%)	前年度予算額	増減額	増減率(%)
民生費	7,045,638	42.0	6,779,067	266,571	3.9
教育費	2,223,223	13.2	1,411,318	811,905	57.5
総務費	1,842,455	11.0	1,743,073	99,382	5.7
衛生費	1,396,990	8.3	1,812,576	△415,586	△22.9
公債費	1,162,042	6.9	1,054,320	107,722	10.2
土木費	1,115,376	6.7	1,000,401	114,975	11.5
農林水産業費	825,116	4.9	1,215,204	△390,088	△32.1
消防費	776,752	4.6	753,368	23,384	3.1
その他	402,408	2.4	470,673	△68,265	△14.5
歳出合計	16,790,000	100.0	16,240,000	550,000	3.4

また、歳出を性質別に見ると、義務的経費は人件費(職員の給与など)36億9,401万7千円、扶助費(福祉や医療の助成、生活扶助など)31億7,034万1千円、公債費(市債の償還金)11億6,204万2千円の合計80億2,640万円(前年度対比3.4%増)となりました。これは全体の47.8%を占めています。

投資的経費は、弥生小学校や南部保育所の長寿命化改良工事の実施などの関連予算を計上したことにより、20億329万6千円(前年度対比12.8%増)となりました。

その他の経費で主なものは物件費(委託料など)27億5,511万2千円、補助費等(各種団体への補助金、負担金など)24億2,375万9千円、繰出金(特別会計への繰出金)13億5,153万4千円などが挙げられます。

性質別歳出の状況(一般会計)



一般会計(歳出)性質別

(単位:千円)

区分	本年度予算額	構成比(%)	前年度予算額	増減額	増減率(%)
義務的経費	8,026,400	47.8	7,759,577	266,823	3.4
人件費	3,694,017	22.0	3,647,616	46,401	1.3
扶助費	3,170,341	18.9	3,057,641	112,700	3.7
公債費	1,162,042	6.9	1,054,320	107,722	10.2
投資的経費	2,003,296	11.9	1,775,692	227,604	12.8
普通建設事業費	2,003,291	11.9	1,775,687	227,604	12.8
災害復旧事業費	5	0.0	5	0	0.0
その他の経費	6,760,304	40.3	6,704,731	55,573	0.8
物件費	2,755,112	16.4	2,690,786	64,326	2.4
補助費等	2,423,759	14.4	2,446,323	△22,564	△0.9
繰出金	1,351,534	8.1	1,333,852	17,682	1.3
その他	229,899	1.4	233,770	△3,871	△1.7
歳出合計	16,790,000	100.0	16,240,000	550,000	3.4